

共生

国際理解・異文化理解



小学校

道徳

総合

みんな生きています 15分

わたしのカムイユカラ (2008年放送)

この番組の良さ



地域の伝統文化を理解する

アイヌ民族の血をひく関根摩耶さんは、アイヌの文化を学んでいる。摩耶さんの住む地域は、昔からアイヌ民族が暮らしてきた歴史がある。現在の日常生活の中で、アイヌ民族の言葉を使って生活する人は少なく、伝統文化を語るができる人も減ってきている。それは、アイヌ民族固有の文化が否定された時代があり、アイヌの文化や歴史を守れなかったからである。この番組を通して、アイヌの伝統や文化を理解するとともに、自分が住む地域や文化の素晴らしさについて考えることができる。

伝統文化を伝える

北海道平取町二風谷^{にふだけ}では、アイヌ民族の言葉や歌、伝統を伝えるために、アイヌ語教室を開いている。また、この地域以外にも、古くから日本に暮らしているアイヌ民族の伝統文化を語り、伝える活動をしている人もいる。地域に伝わる伝統文化を守ることの大切さを考えることができる。

番組活用のポイント

地域の伝統文化を知るきっかけとして

この地域には、昔から受け継がれてきた伝統や文化がある。「その伝統や文化とは何か」を問いかけ、考えるきっかけとして視聴すると効果的である。また、地域ごとにすばらしい伝統や文化があることを理解することで、自分たちの住む地域との共通点や相違点を発見することができる。番組を通して、アイヌのことを知り、日本には、地域によって歴史も言葉もちがう文化があることを理解するとともに、自分たちの住む地域や伝統や文化に関心を持つことにつなげることができる。

異文化理解から自分の地域の伝統文化について考える

アイヌの伝統や文化を知ることだけで、学習を終了させてはいけな。自分たちの地域の伝統や文化に考えさせる機会を与え、さらに興味関心を持たせるように子どもの活動を向けさせることが必要である。その後には大事なことは、「地域の伝統や文化をどのようにして伝えていくのか」を子どもたちに考えさせることである。番組視聴後に、伝統文化をどのように守り伝えていくとよいのかについて、お互いの考えを交流すると、さらに地域の伝統や文化への理解を深め守ろうとする態度を育てることができる。

アイヌ民族を知る資料として

この番組を通して、アイヌ民族の伝統文化や歴史を知ることができる。あらゆるものに神が宿ると考え、自然の恵に感謝してきたアイヌ民族は、歌や踊りや儀式でその感謝を表現している。摩耶さんが番組の中で歌っている「カムイユカラ」は、アイヌの神の物語である。アイヌ民族について興味を持ち、アイヌ民族を知る資料として活用できる。